



黒見 久美子 議員



### 福祉の充実について

**問** ①高齢男性を中心に前立腺がんや膀胱がんが増え、尿失禁や頻尿などの症状が残り、これを防ぐため尿漏れパッド等に対応している。使用済みパッド等を捨てるための、男性用トイレにサンタリーボックスの全公共施設設置予定と、トイレ入口の案内表示や市民への周知について伺う。②感染症対策の観点から、公共施設の洋式トイレへの便座クリーナー設置について伺う。

③補聴器購入補助について、認知症予防のため補助対象年齢と助成額の見直しおよび再購入時の再申請について伺う。④障がい児の介護でよだれ対策に悩む保護者の負担軽減のため、高額なよだれかけの購入補助と、購入場所の確保について伺う。

**答（財政部長）** ①施設の特性、利用状況および利用者の年齢層などを考慮し、必要性の高い施設から順次導入を進めていきたい。併せて、案内表示や市民への周知を進めていく。②トイレの便座クリーナーについては、感染症予防よりも、使用者に快適さや安心感など気持ちの面での効果が大きいと思われる。庁舎等施設のトイレは清掃員が定期的に清掃しており、十分な衛

生対策を行っていることから、これまで同様に感染防止対策を心がけていく。

**答（福祉部長）** ③令和6年度から助成額の増額を検討している。なお、対象年齢については、引き続き65歳以上の高齢者を考えている。再申請については研究していきたい。④ご家族の負担が大きいということは理解している。購入補助と併せて市内販売場所の問題についても、他市町村の動向も踏まえ、研究していく。



サンタリーボックス



高橋 秀彰 議員



### 危機管理型水位計について

**問** 市内の河川に設置された危機管理型水位計で観測した水位データや、予測雨量、また、過去の水位データ等を基に、AI等のデジタル技術を活用し、総合的な解析を行うことで、最近、深刻化する短時間の大雨による河川氾濫の危険性等について、より詳細な情報発信が可能と考えるかどうか。

な情報把握による情報提供については今後検討していきたい。

**答（都市建設部長）** 危機管理型水位計は、細かい水位変動の把握が必要な箇所を選定し設置している。設置場所と水位情報は、県や市のホームページ等で閲覧可能で、引き続き豪雨災害時の情報伝達力の強化に努めていく。



危機管理型水位計

### データ連携による子ども支援について

**答（市長）** AIを活用した的確

**問** 組織の縦割りを越えたデー

タ連携により見逃しを防ぎ、本来支援が必要な子どもの発見が可能と考える。早期かつ確実に支援の手を差し伸べるなど、切れ目のない支援により、誰一人取り残さない教育の実現への取り組みが必要と考えるがどうか。

**答（教育長）** データ連携により新たな情報共有の場ができ、即時に必要な情報を共有できると考えられる。子どもに関する問題は多岐にわたり実態が見えにくいことも事実であり、継続的なより良い見守りのためデータ連携の必要性を感じている。デジタルデータの特性を生かし、多部局との情報連携を通して子どもを取り巻く環境における諸問題の解決について検討していく。